

令和5年第4回江差町議会臨時会資料

資料1：自然環境の調和と適切な事業推進を目指した再生可能エネルギー
ゾーニング事業【議案第1号関係】

…P 1

自然環境の調和と適切な事業推進を目指した再生可能エネルギーゾーニング事業

〈所管課：総務課〉

事業の目的

本町は、風況が良好なことや、日照時間は比較的低い水準ではあるものの、建物屋根や荒廃農地への設置が可能なことから陸上風力や洋上風力、太陽光発電による再生可能エネルギー導入のポテンシャル（潜在的可能性）を秘めている。

本事業を通じ地域の景観や自然環境などと調和しながら、陸上風力発電、洋上風力発電、太陽光発電といった再エネを積極的に推進していくためのゾーニングを設定し、併せて適切な事業推進を図るための条例制定を目指す。

事業内容

①町が有する豊かな自然、観光資源との共生を考慮したゾーニングの設定

町内には「かもめ島」「砂坂海岸林」といった檜山道立自然公園や、鳥類ではオジロワシといった希少猛禽類が生息されている地域となっている。

このため、適切な環境や景観を配慮しつつも、事業化につながる導入可能性エリアを検討し、多様な地域資源を最大限に活かしたゾーニングの設定を検討する。

②町の再エネポテンシャル量を考慮したゾーニングの設定

町が有する再エネのポテンシャルを最大限に活かすゾーニングの設定を検討する。

- ・陸上風力については、既設の風力発電事業者等の協力を得るなどして、風況の再整理を行い、風力発電事業の開発適地の抽出を行う。
- ・洋上風力については、景観に配慮しながら地元漁業者、関係事業者、町民と協議を進めながらゾーニングの設定を検討する。
- ・太陽光発電については、荒廃農地を活用する場合は、農業委員会や農業者と協議を進めながらゾーニングの設定を検討する。

③町民の生活に配慮したゾーニングの設定

再エネはCO₂排出量が少なく、地球温暖化対策に貢献することが期待されている一方で、地域レベルの環境問題において、騒音、振動、景観阻害等といった課題が顕在化している。

再エネを最大限に配慮しながら導入を進めていくうえで、町民等の理解や環境アセスメント、立地面での配慮など、再エネ導入の促進と環境保全等の両立を図っていくためのゾーニングの設定を検討する。

事業費

22,033千円

(財源内訳：国庫補助金 14,850千円・一般財源7,183千円)

補助金の名称等

【名称】令和4年度（第2次補正予算）
二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（環境省）

【補助率】補助対象経費の3/4
※補助対象経費 22,033千円のうち19,800千円

事業期間

令和5年着手日から令和6年2月29日まで

スケジュール

実施項目	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
委託業者の選定・契約	■									
既存情報の収集・整理	■	■	■							
追加的な環境調査等の実施	■	■	■	■						
ゾーニング案の作成			■	■	■	■	■	■	■	
有識者ヒアリング				■	■	■				
ゾーニング検討協議会等の開催			■	■	■	■	■	■		
エリア毎の事業実施上の課題の明確化			■	■	■	■	■	■	■	
ゾーニング結果のまとめ						■	■	■	■	

